

自治基本条例とは何か なぜ必要なのか

相模女子大学
松下 啓一

2つの考え方

○政府(行政、議会)を規制・コントロールする
政府の専横から国民の自由を守る

○市民のための政府+市民も元気でその力を発揮する
→まちをつくるためのルール

今、何が必要なのか

他から持ってくればよい?



□ 自治体といってもさまざま

○小さな自治体 東京都青ヶ島村 平成21年7月1日現在

人口 177人 (男107・女70、世帯数112)

もし私がつくれば……

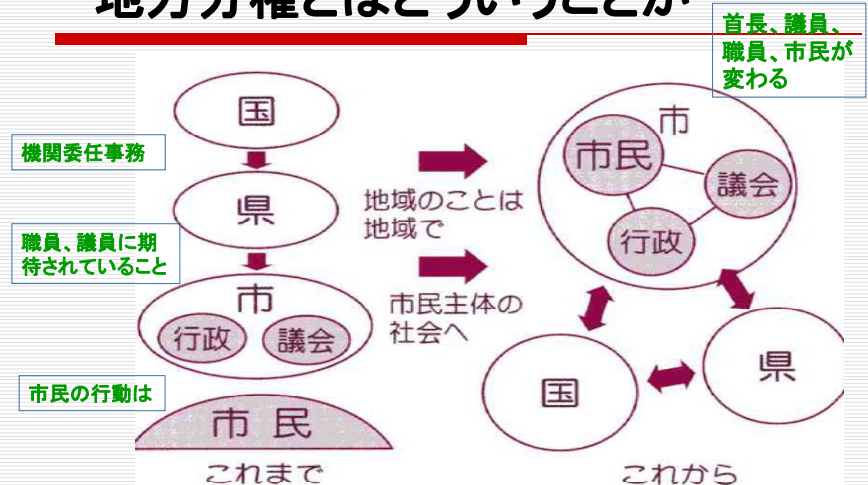
○大きな自治体 横浜市

人口 367万人



1800のパターン

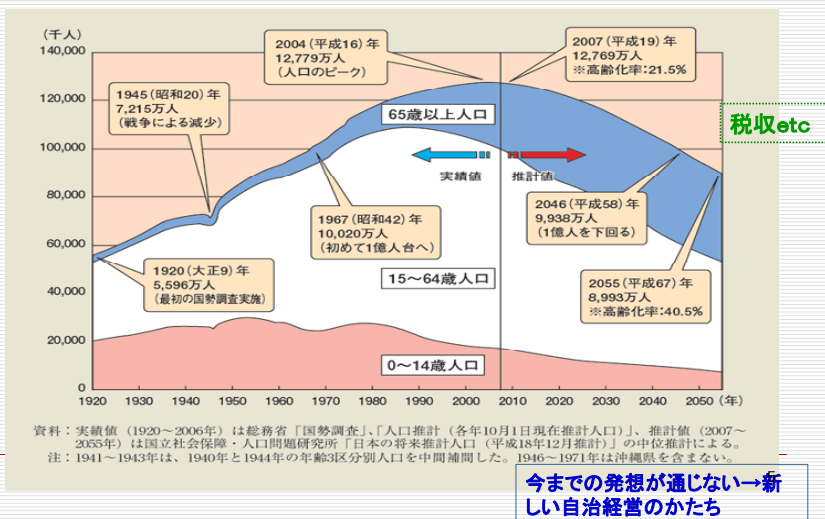
なぜ自治基本条例なのか・基本から考える 地方分権とはどういうことか



ヒラメ公務員? → 同じ目線

協働は、これまで130年続いた仕組みを大きく変えるパラダイム

なぜ自治基本条例なのか・基本から考える 人口減少・少子高齢化



どうやってまちをつくるのか＝自治経営 協働＝野球は9人でやろう

これまでは内野(行政6人)だけでやっていた
外野にいた市民、議員も野球をやる

野球のルール・自治基本条例



自治基本条例のポイントは 協働による自治経営(まちづくり)

- ①行政、議会の仕事ぶりを変える
 - ・信託された役割(主権者としての市民)を十分に発揮する
 - ・「市民の公共力を活かす」ように仕事を組み立てなおす
- ②公共の担い手としての市民をしっかりと位置づける
 - ・市民の市民性(自律性、貢献性)を伸ばす
 - ・地域コミュニティ、NPOを公共主体として位置づける

野球のメンバー 地域団体の役割・機能

- ①生活相互扶助・・・冠婚葬祭、福祉、教育等
- ②文化・伝統の維持・・・祭、文化、景観等
- ③地域全体の課題の解決・・・まちづくり、防犯、山林保全、防災等

これを担える組織はそうはない

テーマコミュニティの役割・機能

- ①NPOメンバー(主婦、定年退職者、公務員)。
特に団塊の世代(毎年270万人)
- ②民間のノウハウ

急速に増えている

野球のメンバー 議員の役割・意義



市民と大いに議論する
(水平の関係で)

一緒に野球をやるために 違いを知る→理解になり→力になる

○行動原理の違い

	行政	市民
意義・ミッション	市民全体	一部の
行動原理は	公平・平等	自己の関心のまま
活動資金は	税金	自分のお金

* 違うことが重要 = 行政にないこと = 重層的な社会
→ 同じなら意味は乏しい

- DVの例・その他の例
- 協働の前に行政を知ろう ⇒ 『市民活動のための自治体入門』(大阪ボランティア協会)

一緒に野球をやるために 信頼関係をつくる

① win-winの関係

- ・市民-公務員関係の再構築
- ・安い下請け

役所がやると
いう発想

体験では

- ### ② 結局、ひざを交える・まじめに議論する



流山市自治基本条例策定調整会議

不思議な共感が生まれてくる

☆☆最近思うこと・大事なこと 自治・まちづくりは楽しくやる



なぜならば自分
たちの暮らしを良
くすることだから